

平成28年度 《第5回》 重粒子線 医工連携セミナー

平成28年9月30日（金） 17:00～

場所：群馬大学医学部 臨床大学院講堂

粒子線治療における 新しい線量分布イメージング法の開発

山本 誠一 先生

名古屋大学大学院医学系研究科 教授

粒子線治療における線量分布は、現状、電離箱や半導体検出器を用いて行われている。この方法は測定に時間がかかり治療中の線量分布は測定できない。新しい線量分布測定法として、粒子線照射によりファントムあるいは被検者中に生成される陽電子放出核種をイメージングする方法や、粒子線照射で発生する即発放射線を測定する方法などが試みられている。本発表では、まず、講演者がこれまでに開発した、粒子線照射により生成する陽電子放出核種画像化の新しい手法及び装置を紹介する。また即発放射線を画像化する新しい手法及び装置も発表する。さらに、講演者らが最近発見した、放射線照射による水の発光現象の概要と、この現象の粒子線治療への応用の可能性についても紹介する。

= 共催 =



がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
放射線治療人材養成8大学連携プログラム

博士課程教育リーディングプログラム
群馬大学 重粒子線医工学グローバルリーダー養成プログラム

= お問い合わせ先 =

群馬大学重粒子線医学研究センター 猪爪 (E-mail:inoino@gunma-u.ac.jp)
〒371-8511 群馬県前橋市昭和町3-39-22 TEL: 027-220-8378